

1:1 エジプトの地を出て二年目の第二の月の一日に、【主】は、シナイの荒野の会見の天幕でモーセに告げられた。

1:2 「イスラエルの全会衆を、氏族ごと、一族ごとに調べ、すべての男子を一人ひとり名を数えて、その頭数を調べよ。

1:3 あなたとアロンは、イスラエルにおいて、二十歳以上で戦に出ることができる者をすべて、その軍団ごとに登録しなければならない。

1:4 また部族ごとに一人ずつ、一族のかしらである者が、あなたがたとともにいなければならない。

1:5 あなたがたの助手となるはずの者の名は次のとおりである。ルベンからはシェデウルの子エリツル。

1:6 シメオンからはツリシャダイの子シェルミエル。

1:7 ユダからはアミナダブの子ナフション。

1:8 イッサカルからはツアルの子ネタンエル。

1:9 ゼブルンからはヘロンの子エリアブ。

1:10 ヨセフの子らからは、エフライムからアミフデの子エリシャマ、マナセからペダツルの子ガムリエル。

1:11 ベニヤミンからはギデオニの子アビダン。

1:12 ダンからはアミシャダイの子アヒエゼル。

1:13 アシェルからはオクランの子パグイエル。

1:14 ガドからはデウエルの子エルヤサフ。

1:15 ナフタリからはエナンの子アヒラ。」

1:16 これらの者が会衆から召し出された者で、その父祖の部族の長たちである。彼らがイスラエルの分団のかしらたちである。

1:17 さて、モーセとアロンは、これら指名された者たちを伴い、

1:18 第二の月一日に全会衆を召集した。そこで氏族ごと、一族ごとに、二十歳以上の者の名を一人ひとり数えて、その家族表で本人を確認した。

1:19 【主】がモーセに命じられたように、モーセはシナイの荒野で彼らを登録した。

民数記とは民の数、特に戦士の数を数えるということで、それは戦いのための備えです。私たちもこの世というサタンの力が残る場所に生きていますから、敵対する力があるのです。主の愛を全うするのは、厳しいのです。その覚悟と備えも必要であることを覚えましょう。

またこの書のヘブル語の題名は、ベ・ミドバルすなわち荒野にてという意味です。その意味するところは、この世は荒野であって、約束の地に行くまでには信仰の戦いが必要であるということなのです。

私たちの人生は何事も、そしていつまでも安泰ということはありません。優先順位をしっかりとさせて、現実を直視し、決断して、主の恵によって努力しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

